

令和4年度授業改善推進プラン

清瀬市立 清瀬 中学校 第1学年

	授業における課題や学力調査資料から見た課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校までの既習漢字習得状況にばらつきが大きい。また、漢字や語彙をミニつい蹴るための家庭学習が定着している生徒は全体の半数程度である。 ・定期考査の記述問題無解答率が高いことや解答している正答率が低いことから、自身の考えを表現することを苦手としている生徒が多いと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字学習や読書習慣の定着を目指すために、授業内で定期的に漢字テストと誤答漢字の確認を継続する。また、読書を取り入れた授業を行い読書への関心を高める。 ・単元ごとに授業内で短作文を取り入れ、思考した内容を文章化することに慣れさせる。また交流や評価を通じて表現方法を向上させる。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の黒字程度の基本的な用語が身につけていない生徒が見受けられる。 ・定期考査の文章問題の解答が空欄のままやポイントをおさえた文章を書けない生徒がいる。文章にまとめる力に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストを実施し用語などの基礎基本の徹底を行う。 ・普段の授業から本時のまとめを文章でまとめる作業や、発表する力を育成するために長期休業中に調べ学習を行い、発表する機会を作っていく。 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・分数、小数、割合、単位換算など苦手である。 ・問題を読み取り、理解し、具体化する力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストを毎時間実施し、小学校の復習を含め、基礎固めをしている。 ・問題のポイントを押さえ、図式化、簡略化していく指導をする。また、副教材などを使い、解答例を読み、理解する力をつける。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持って取り組んではいるが、その場限りの楽しさであったり、ひらめきで終わってしまい、深い探求と知識の定着が十分でない。 ・話し合い活動を十分に行うことができず、自分の意見をまとめたり、他人の意見に触れる機会が少ない。 ・理科講師の不足などの影響で最終的に3人で受け持っている関係で、落ち着いた学習習慣が取れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の徹底のために、課題や家庭での復習を進んでやるようにする。 ・話し合い活動を入れ、自分の考えを科学的にまとめられる技能も身につける。 ・各教員で話し合いをし、共通した指導体制を構築する。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において小学校でも歌唱活動が満足に行われていなかったと思われ、マスクをつけながらの発声に課題がみられる。口の開け方や呼吸の指導など、マスクをつけながらの指導には難しさがある。校歌の歌唱指導、発表を行ったが、人前で堂々と歌う意欲がみられなかったことが残念である。 ・アルトリコーダーの指導では、指の押さえ方など、ソプラノリコーダーとの双方の違いに戸惑っている様子が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽祭合唱曲の個別の音取り、発声方法などの基礎基本の定着。 ・アルトリコーダーの基礎奏法、の定着、箏、ギターによる器楽指導。 ・タブレットのソフトを利用した創作指導。 ・鑑賞指導での楽器の響きや各楽器の音色や奏法の特徴について、思考・判断力を身につける鑑賞指導。 ・忘れ物チェック、取り組みカード記入の実施。 	
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・制作に関して意欲的に活動できているが理解力が低く、テストや実践が伴わない生徒が見受けられる。 ・作品を鑑賞して言葉で表す力が不十分な生徒が多い。 ・タブレットの使用方法が分からない生徒が一部見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理解力を上げるために繰り返しの指導を行ったり、個別での指導を行う。 ・動画やジャムボードなどを使い、生徒がより興味をもつ授業を行う。 ・他者との話し合いの場を増やして、言葉で表す力を身に付けさせる。話し合いを通して課題解決をできるよう指導方法を工夫する。 ・テレビに自分が操作している画面を映し、個別でも対応する。 	
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・指示を聞いて、正しく行動できる生徒が多い。 ・課題に対して意欲的に取り組んでいる生徒がほとんどである。 ・苦手な課題から逃げようとする生徒が少数ではあるが見受けられる。 ・自己の体力や技能について理解し、自ら進んで運動に取り組む姿勢をもつことが今後の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを活用し、個々のねらいを明確にして取り組ませる。 ・課題に対する学習をスモールステップで繰り返し行い、技能の習得に努め、運動の楽しさを味わわせる。 ・機会を捉え、運動の必要性や今行っている運動と体力のつながりについて話し、理解を深めさせていく。 ・グループでの活動や教え合いの場面を増やしていく。 	
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの生徒が意欲的に授業に参加している。実習の時間でも班で協力して作業できている。 ・理解度が低く、知識が身に付きにくい。 ・定期考査では基礎的な知識を身に付けている生徒は多くみられたが、応用に関する問題では回答が少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書やプロジェクターでの視覚情報を分かりやすくまとめる。 ・授業内容が説明が多くなってしまったため、実習を多く取り入れ経験から課題解決を出来るようにする。 ・説明だけでは実施できない生徒のために、個別で指導を行う。 	
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に前向きに学習に取り組む姿がある。 ・小学校で英語の音にはよく慣れ親しんでいるが、それらを書くことには苦手意識があり定着に苦労している生徒が多い。 ・文法を苦手とする生徒も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の始めに単語のビンゴ及びそこに出てくる単語のテストを常活動として行う。英単語レベルから書く習慣を作り、語彙力と書く力を身に付けていく。 ・単元ごとに文法を整理する時間を作り、文法の定着を図る。また、長期休み明けに前学期の文法内容を復習するテストを行う。 	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に前向きに取り組む生徒が多い。また、意見を求めた時にも、真剣に考えることができ、発言量も多い。 ・グループでの話し合いも積極的に行うことができるが、課題として、一部の生徒は自分の考えを持ち、発表することに苦手意識を感じている生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードを使って、意見交換をするなど、全員の意見が反映できるような手立てを考える。 ・視覚的な要素を多く取り入れ、生徒の興味関心を持たせる工夫を行う。 	
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・どの題材に対しても意欲的に学習に取り組む姿がある。 ・タブレットの活用能力も高く、スライドの作成など教員のサポートなしで使用することができる。 ・新しい題材を始める際に学習の目的を伝えるものの、その目的を深く理解せず課題をこなすだけになってしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を始める前に自分で目標を立てたり、学習を進める中や終了後で目標達成度を確認する場面を作る。 	